

2020年1月20日
丸紅株式会社

アブダビ首長国エネルギー庁との水素社会実現に係わる覚書締結について

丸紅株式会社（以下「丸紅」）は、2020年1月15日に、アラブ首長国連邦アブダビ首長国エネルギー庁（Abu Dhabi Department of Energy、以下「DoE」）との間で、水・電力の有効活用を通じた水素社会実現に係わる覚書を締結しました。この覚書は、再生可能エネルギー由来の電力を活用した水素製造について、技術及び経済性の観点から実現可能性を検討するものです。丸紅と DoE は、共同で調査研究と実証実験を進めると共に、再生可能エネルギー、水素製造及びその供給に関するノウハウの共有を図ります。

太陽光発電を始めとする再生可能エネルギー由来の電力は、気象条件などによりその発電量が変動することから、電力の安定供給を目的に、余剰発電時の電力を利用して一旦水素を製造し貯蔵する方法が注目されています。また、水素は燃焼時に CO₂ を排出せずに利活用できるため、地球温暖化対策にも有効なエネルギーです。再生可能エネルギー由来の電力を用いて製造する水素を利活用していくことで、CO₂ 排出量を削減するサプライチェーンの構築が有望視されます。

DoE は 2018 年 2 月にアブダビ首長国のエネルギー分野における政策立案を目的として設立されました。DoE はアブダビ首長国の経済成長、エネルギーの確保、そして持続可能な発展を可能にする効率的なシステム構築を目指しています。DoE はまた、消費者と環境を保護すると同時にアブダビ首長国の持続可能な成長を下支えする効果的なエネルギー転換を実現すべく、政策および規制を制定し、戦略を策定することを使命としています。

丸紅は世界で有数の海外電力発電事業者として、アラブ首長国連邦においては、発電容量 1,177MW の太陽光発電所を含む 5 件の発電・造水事業に参画しており、アラブ首長国連邦及びアブダビ首長国の電力セクターの開発・成長に貢献してきました。今回は、両者の長年に亘る良好な関係に加え、水素サプライチェーン分野における複数の実証実験への参画経験を有する丸紅の実績と十分な知見が評価され、覚書の締結に至りました。

丸紅は、気候変動をサステナビリティの環境・社会における重要な課題と捉え、今後もこれまでの電力事業にて培われた経験を最大限に活用し、安心・安全な再生可能エネルギーのさらなる普及・拡大に努めると共に、水素の有効活用を図ることにより、脱炭素社会の実現に協力・貢献していきます。

<DoE概要>

省庁名： Abu Dhabi Department of Energy
代表者： Eng. Mohammed Bin Jarsh Al Falasi
管轄業務内容： アブダビ首長国エネルギー分野における政策立案

以上